

# 地域と学校の協働通信

## [地域コーディネーター]が

### ～地域と学校の橋渡し役を担います～

地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えていくことをねらいの一つとし、地域住民などがボランティア等として学校教育に積極的に関わっていただけるよう様々な活動をしています。

### 【地域コーディネーターの役割】

#### 教育方針や学習のねらいを地域・学校で共有

- ・学校の要望を把握し、ふさわしい方を探して紹介するなど学校の教育活動を支援します。  
(例えば、登下校の見守りボランティア・ゲストティチャーなど)

#### 人材発掘とボランティア登録のお願い

- ・学校への理解や愛着のある、「地域の子どもは地域で育てる」という意識をもった方を探します。
- ・「地域の学校は地域で支える」という意識で協力していただけるボランティアを求めています。

#### 学校との関わり方

- ・学校の希望を理解する。
- ・教員と話し合い、パートナーとしての関係を築く。
- ・学校の教育活動や方針を踏まえた提案ができるよう、情報を集める。

#### 地域との関わり方

- ・地域の福祉の会、青少協、防犯協会、ワンワンパトロールなどの様々な団体の方  
といろいろな機会をとらえて情報交換する。



#### ボランティアとの関わり方

- ・ボランティアの方々の都合などを調整する。
- ・学校・教員の学習の意図等をボランティアに説明し理解をしていただく。
- ・学校とボランティアの連絡・調整をし、受け入れ体制を整える。

#### 企業や地元商店との関わり方

- ・企業や商店の強みや地域との関わりを把握する。
- ・学校の授業に関わっていただく方策を考え提案する。
- ・職場体験やまち探検の連絡・調整をする。

## 地域コーディネーターが活躍しています！

年間に3回の連絡会を開催し、各校における活動報告など情報交換をし、自校の取組に生かしています。

第2回の連絡会では、

- ① 先生方との連携の仕方
- ② 学校の年間行事予定表の活用
- ③ 地域有志の掘り起こし

などについて桜野小学校の取組が報告された後、情報交換を行いました。



第2回連絡会

## 地域のボランティアと連携して

桜野小学校では、地域コーディネーターが、登録していただいた地域やPTAのボランティアと連携して、図書室の飾りつけや体育の授業で使う「ビブス」の洗濯・整理などを、一人に負担がかからないように作業を細分化して依頼するよう工夫しながら学校を支援しています。また、地域の方を講師として招いて、授業を行う際の連絡・調整、会場準備などもしています。



地域の講師による蚕の飼育



図書室の飾りつけと本の整理

## 農家の協力を得て野菜栽培と収穫を体験

関前南小学校では、子どもたちが農家の方から指導をしていただき、直接土に触れ、5月にきゅうり・枝豆・ナス・ピーマン・オクラなどの種まきや植えつけをし、夏休み前に収穫して野菜カレーパーティを開催しました。

また、初夏には地域コーディネーターが学校と連絡・調整し、学校の協力のもと「ビオトープ」を利用して「おやじの会」の主催でホテルの鑑賞会を実施しました。児童やその家族、300人以上の参加がありました。



農家の人の指導による収穫と片付け